

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2002-198969 (P2002-198969A)
 【公開日】平成 14 年 7 月 12 日 (2002.7.12)
 【出願番号】特願 2001-301970 (P2001-301970)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 L 12/28

H 0 4 L 29/06

H 0 4 Q 9/00

【F I】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 Z

H 0 4 L 12/28 1 0 0 H

H 0 4 Q 9/00 3 0 1 E

H 0 4 Q 9/00 3 2 1 E

H 0 4 L 13/00 3 0 5 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 9 日 (2005.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

前記中央制御装置は、前記伝送方式決定手段によって選択された伝送方式の情報を受け取って、前記データ到達時間差を補正するための遅延時間を算出することを特徴とする、請求項 2 に記載の通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記中央制御装置は、前記伝送方式決定手段によって選択された伝送方式の情報を受け取って、前記データ到達時間差を補正するための遅延時間を算出することを特徴とする、請求項 4 に記載の通信装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

ネットワークコントローラ 6 0 2 は、C D (C o m p a c t D i s k) プレーヤやスピーカのような接続機器 6 0 5 とデータを送受信したり、ネットワークインタフェース 6 0 0 を介して他のノードの接続機器とデータを送受信する。C P U 6 0 3 は、ネットワークコントローラ 6 0 2 を制御し、接続機器 6 0 5 およびネットワークコントローラ 6 0 2 と通信を行なう。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

第3の発明は、第2の発明に従属する発明であって、

中央制御装置は、伝送方式決定手段によって選択された伝送方式の情報を受け取って、データ到達時間差を補正するための遅延時間を算出することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

第5の発明は、第4の発明に従属する発明であって、

中央制御装置は、伝送方式決定手段によって選択された伝送方式の情報を受け取って、データ到達時間差を補正するための遅延時間を算出することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

ネットワークコントローラ103は、接続機器106とデータを送受信するとともに、ネットワークインタフェース100を介して、他のノードに接続された接続機器とデータを送受信する。CPU104は、ネットワークコントローラ103や接続機器106等の制御のための各種通信を行う。